

# 令和3年度上半期 財政の状況

3年度上半期(令和3年4月1日～9月30日)の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。  
市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計に分かれています。数値はすべて3年9月30日現在のものです。

## 一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、福祉、教育、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路整備、ごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

3年度の予算現額(年度当初の予算額に修正予算額などを加減したもの)は48億4183万円です。執行状況は図1のとおり、歳入では収入率が46.6%、歳出では執行率が35.2%です。

## 積立基金(貯金)、市債(借金)、市有財産

積立基金(貯金)は表1、市債(借金)は表2、市有財産は図2のとおりです。

◎市税負担、市民サービスなど  
市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額、市民サービス費用(※)、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は、図3のとおりです。

※市民サービス費用は市が行うサービスにかかる費用のことで、市税や国・都からの支出金などが財源

表1 積立基金(貯金)

	現在高
一般会計	58億3831万円
財政調整基金	72億3433万円
特別会計	14億4946万円
合計	145億2210万円

※財政調整基金=財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)  
※特定目的基金=公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

	現在高(元金の残高)
建設事業債	79億5762万円
災害復旧債	4790万円
赤字地方債	98億5684万円
合計	178億236万円

※建設事業債=学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金  
※災害復旧債=自然災害で被災した公共施設の復旧のための借入金  
※赤字地方債=財源の不足を補うための借入金

図1 3年度一般会計 予算の執行状況

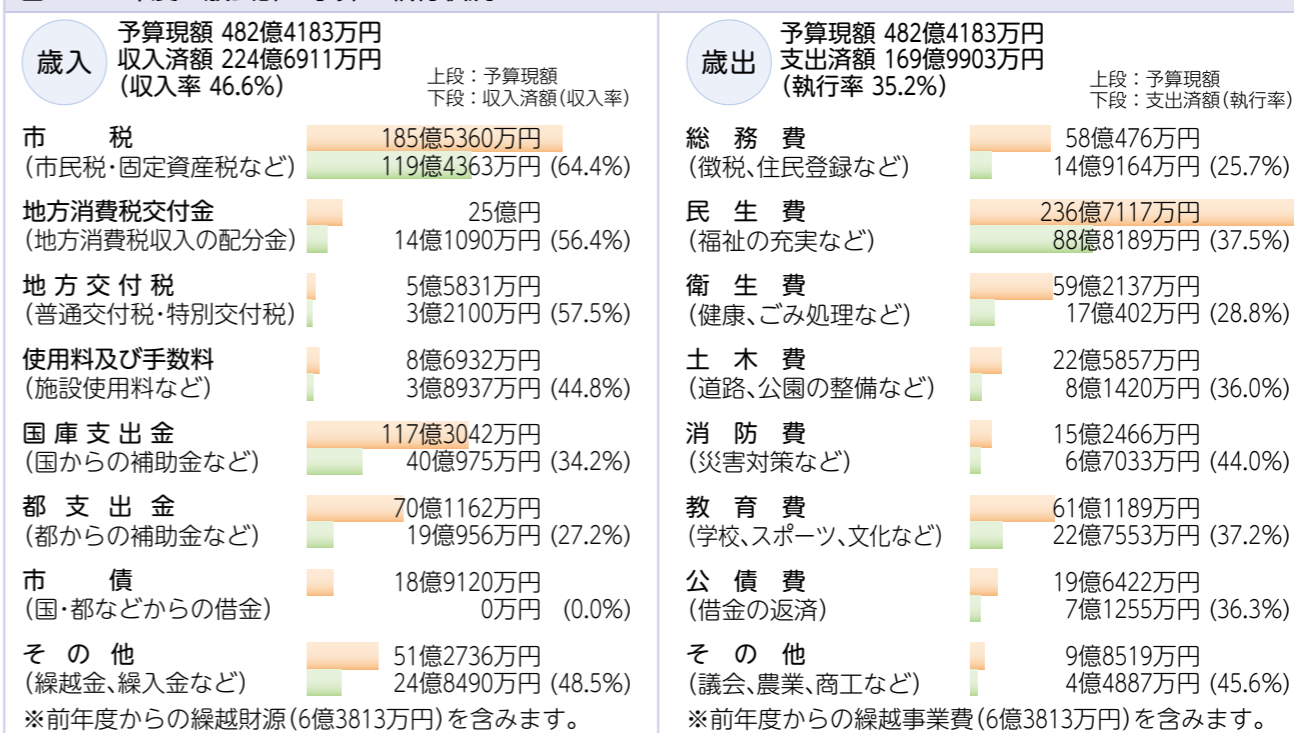


図2 市有財産

土地	58万6428㎡ (学校・公園ほか)
建物	22万4104㎡ (学校・庁舎ほか)
出資による権利	1億2294万円 (昭島市育英会ほか)

図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金

市税収入額	10万4916円	市税負担額	21万4678円
一般会計の支出額	14万9324円	市民サービス費用	30万5546円
積立基金現在高	12万7566円	貯金	26万1025円
市債現在高	15万6908円	借金	32万1063円

※3年9月30日現在の人口は11万3840人、世帯数は5万5635世帯です。

## 特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計から分離して収支を管理している会計です。各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表3のとおりです。

## 企業会計

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理しています。経営

状況は、表4～6のとおりです。水道事業は、新たな借入金はなく、償還金370万円(利息を含む)を支払いました。

市は、市民サービスの向上のため、限られた財源を有効に活用し、適正な予算執行に努めます。

表3 3年度特別会計 予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	122億6333万円	43億3108万円(35.3%)	41億2676万円(33.7%)
介護保険	103億6503万円	40億4737万円(39.0%)	39億5537万円(38.2%)
後期高齢者療養	26億4403万円	10億4904万円(39.7%)	8億7038万円(32.9%)
中神土地区画整理事業	4億5753万円	1億2730万円(27.8%)	6474万円(14.1%)
合計	257億2992万円	95億5479万円(37.1%)	90億1725万円(35.0%)

表4 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

	3年度	2年度	前年度比	
水道事業	給水人口	11万3839人	11万3588人	251人(0.2%増)
	給水世帯	5万5634世帯	5万4933世帯	701世帯(1.3%増)
	有収水量	620万9813㎡	619万4411㎡	1万5402㎡(0.3%増)
下水道事業	接続人口	11万3122人	11万2827人	295人(0.3%増)
	接続世帯	5万5290世帯	5万4571世帯	719世帯(1.3%増)
	有収水量	547万8403㎡	549万3535㎡	△1万5132㎡(0.3%減)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表5 企業債(借入金)の現在高

	3年9月末	2年9月末	前年度比	
水道事業	現在高(元金)	361万円	1451万円	△1090万円(75.1%減)
	給水人口1人当たり	32円	128円	△96円(75.0%減)
下水道事業	現在高(元金)	40億6012万円	44億6979万円	△4億967万円(9.2%減)
	接続人口1人当たり	3万5892円	3万9616円	△3724円(9.4%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表6 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 8億2645万円 水道料金による給水の収益など *営業外収益 2053万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など 合計 8億4698万円	*営業費用 2億7543万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など *営業外費用 70万円 企業債の借入れ利息など 合計 2億7613万円	0円	*建設改良費 4901万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用 *企業債償還金 351万円 企業債の元金 合計 5252万円
下水道事業	*営業収益 7億1556万円 下水道使用料、雨水処理負担金など *営業外収益 707万円 預金利息、一般会計補助金など 合計 7億2263万円	*営業費用 1億9914万円 下水道管などの維持費、汚水処理負担金、減価償却費など *営業外費用 2202万円 企業債の借入れ利息など 合計 2億2116万円	*他会計補助金 7900万円 一般会計補助金など *負担金など 20万円 受益者負担金など 合計 7920万円	*建設改良費 4209万円 下水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化、汚水ます設置)などの費用 *企業債償還金 2億5286万円 企業債の元金 合計 2億9495万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。